

## 北海道の「内陸にある旭川」で物流の現状と課題及び地理的特性を学びました！

令和6年11月30日（土）、北海道運輸局旭川運輸支局において、旭川市立大学生を対象にした、物流施設体験会を開催しました。

この体験会は、次世代を担う学生に現場見学を通じて物流の「今」を体感してもらうことにより、「国民の生活を支える物流産業の重要性や社会的役割の周知を図る」とことと「**就職先として認知してもらうことにより、人材確保の推進を図る**」ことを目的として開催しました。

当たり前のように店頭の商品が陳列されていたり、ネットショッピングで自宅に商品が届きますが、物流機能が停滞・麻痺した場合は、希望の日時に届かなくなったり、そもそも届かなくなることも想定されます。

特に学生にとって、『物流』や『物流の2024年問題』は身近ではないかもしれませんが、今回の体験会を機に、ネットショッピングの際に確実に受け取れる日時を指定するなどの再配達削減の重要性について、理解頂けたと思います。

### ▼見学・各種体験会の様子▼



大量輸送による環境負荷低減などの貨物鉄道輸送の役割、コンテナ内の体感やフォークリフトの乗車体験などを実施しました。

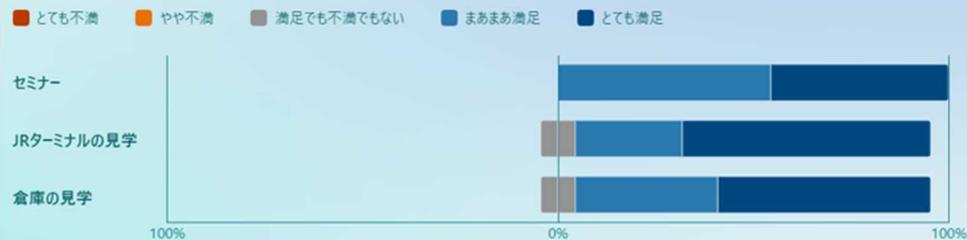


一般貨物自動車運送業と倉庫業の役割、フォークリフトやトラック運転席の乗車体験などを実施しました。



## ▼アンケート結果 (n13) ▼

### 次のイベントについて、どの程度満足していますか？



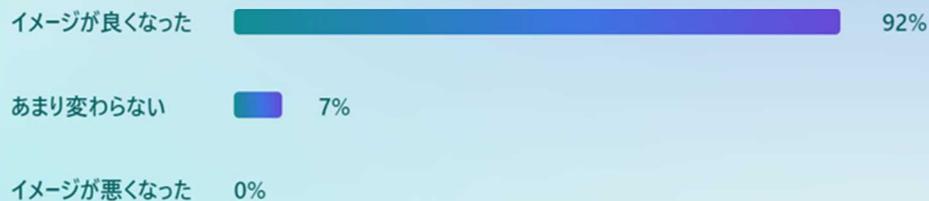
「とても不満」「やや不満」のネガティブイメージは0%より左、「とても満足」「まあまあ満足」のポジティブイメージは右へ表示されますが、いずれのイベントにおいても約9割の方がポジティブに捉えています。

### イベント全般として期待に応えられましたか？



「期待どおりだった」以上が100%と、期待に十分応えられたかと思えます。  
(「期待を上回った」9名、「期待どおりだった」4名)

### イベント体験前と体験後で物流業界のイメージは変わりましたか？



「イメージが悪くなった」方がいない一方「イメージが良くなった」方が92%と実施した意味はあったと思えます。

(「イメージが良くなった」12名、「あまり変わらない」1名)

### イベントを終了して、就職先としての可能性を入力して下さい

# 5.77



1が最下位、10が最上位となりますが、平均評価5.77と平均以上の結果となりました。ちなみに、6月に実施した実業高校の平均評価は5.2でした。平均を上回る人数と学年構成としては、9 (1人/2年)、8 (1人/1年)、7 (2人/2年&3年) と低学年に可能性上位の方が一定数おります。